

F-Secure Server Security (Standard & Premium) Ver14 シリーズ

インストールガイド

エフセキュア株式会社



●免責事項

本書は、本書記述時点の情報を基に記述されており、特に断りのない限り、本書内の記述は、本書記載時の製品のバージョンを基にしております。例の中で使用されている会社、名前およびデータは、別途記載のない限り架空のものとなります。

エフセキュア株式会社（以下、弊社）は、本書の情報の正確さに万全を期していますが、本書に記載されている情報の誤り、脱落、または、本書の情報に基づいた運用の結果について、弊社は、如何なる責任も負わないものとします。本書に記載されている仕様は、予告なく変更する場合があります。

●商標

F-Secure および三角形の記号はエフセキュア株式会社の登録商標です。また、弊社の製品名および記号／ロゴは、いずれも弊社の商標です。本書に記載されている全ての製品名は、該当各社の商標または登録商標です。弊社では、自社に属さない商標および商標名に関する、いかなる所有上の利益も放棄します。

●複製の禁止

本書の著作権は弊社が保有しており、弊社による許諾無く、本書の一部であっても複製することはできません。また、譲渡もできません。

●お問い合わせ

弊社は常に資料の改善に取り組んでいます。そのため、本書に関するご質問、ご意見、ご要望等ございましたら、是非 japan@f-secure.co.jp までご連絡ください。

1. リリースノートをご覧頂き、対象端末が Server Security (Standard & Premium)の動作要件を満たしているかご確認ください。

[Server Security (Standard & Premium) リリースノート]

<https://help.f-secure.com/product.html#business/releasenotes-business/latest/en/fsess-latest-en>

[Server Security (Standard & Premium) 管理者ガイド]

現在準備中となります。

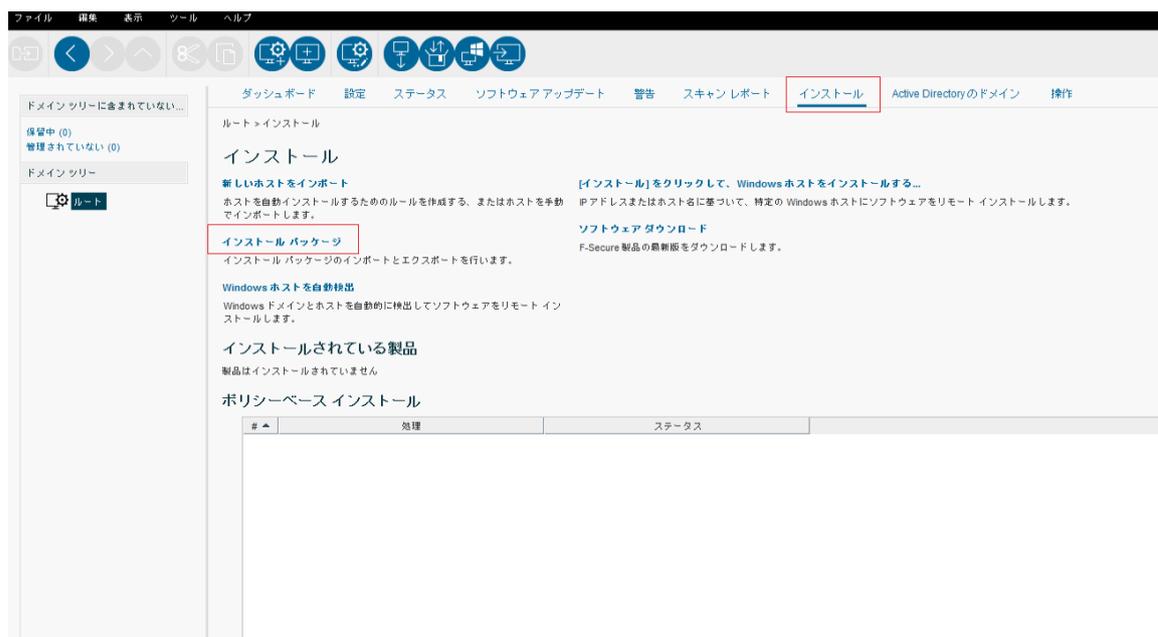
2. 以下のサイトよりインストールパッケージをダウンロードします。

[Client Security (Standard & Premium) ダウンロード URL]

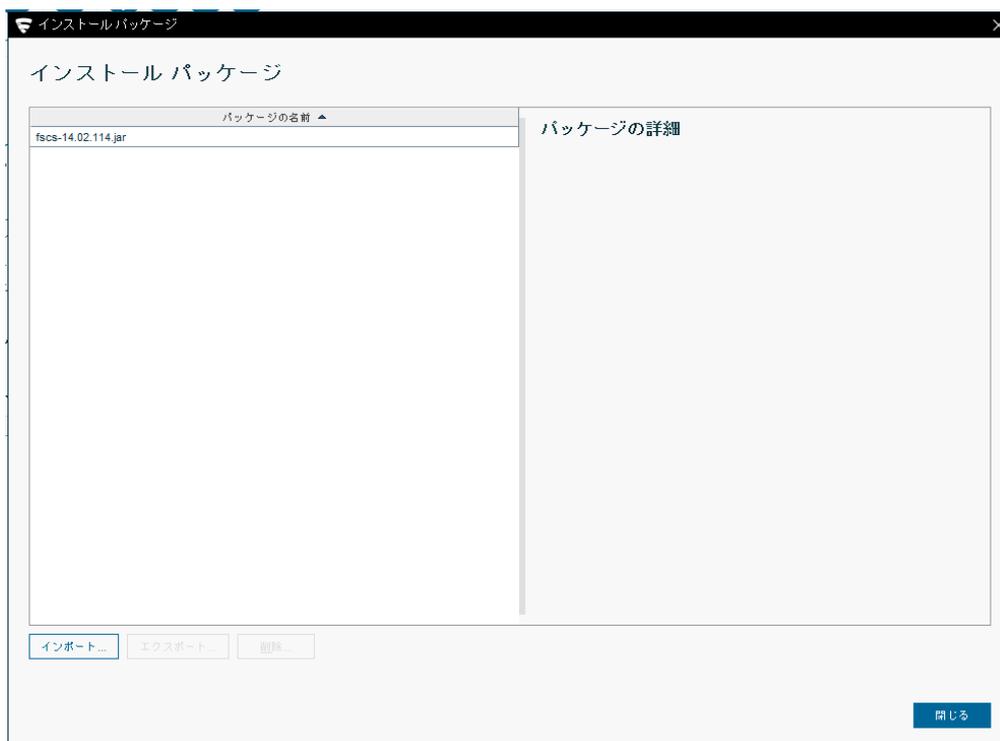
https://www.f-secure.com/en/web/business_global/downloads/server-security

3. Policy Manager Console を起動し Policy Manager にログインします。

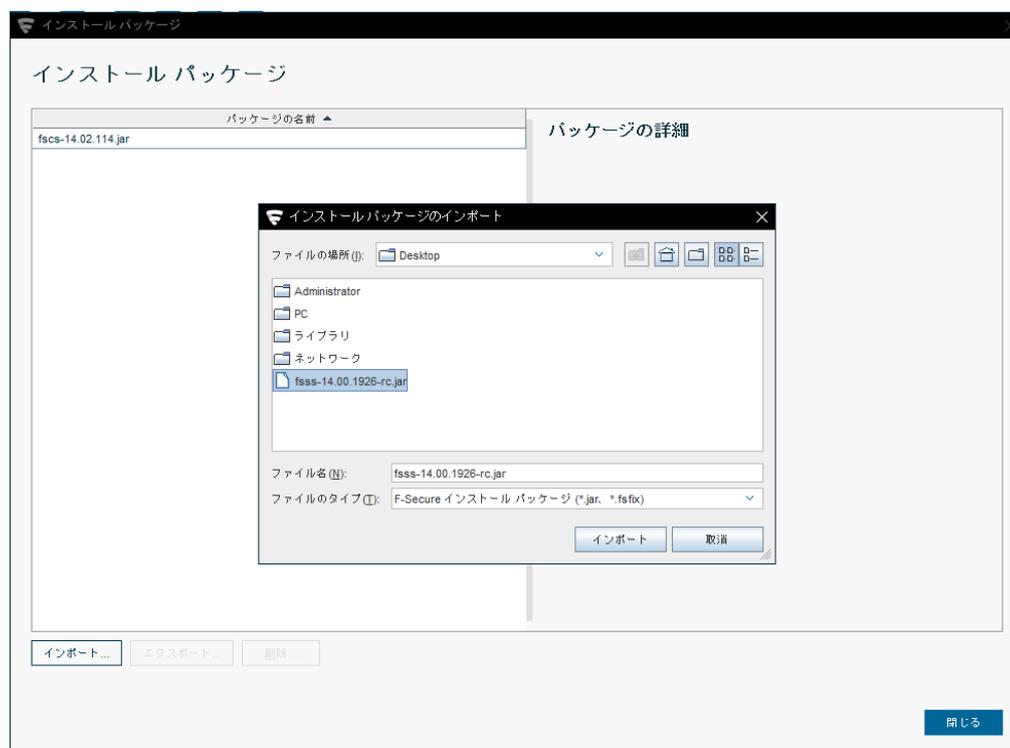
4. インストール> インストールパッケージをクリックします。



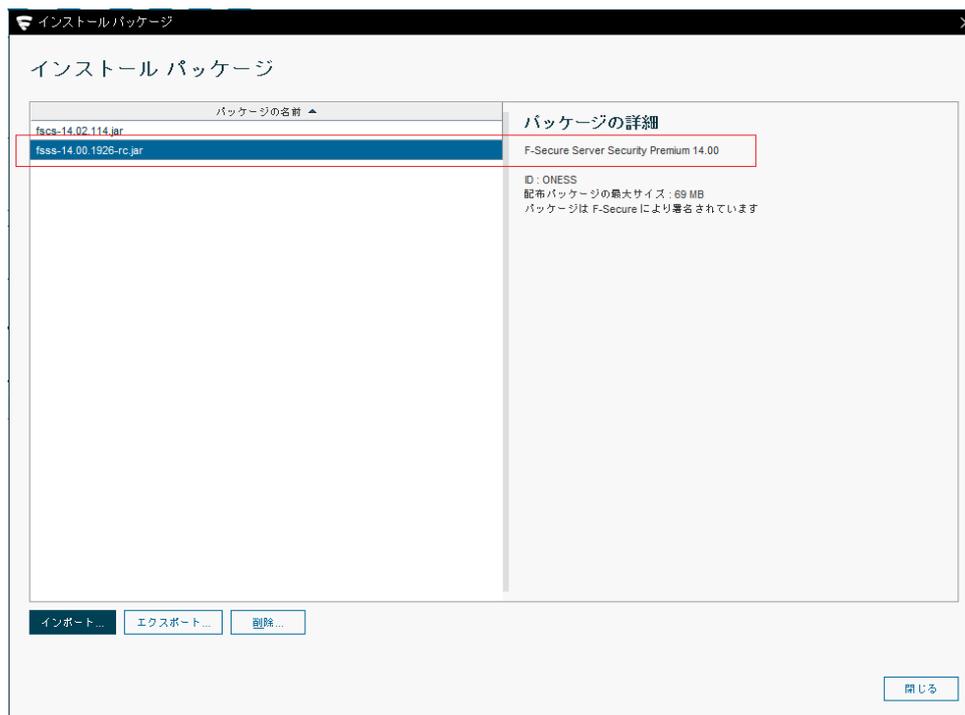
5. [インポート]を押します。



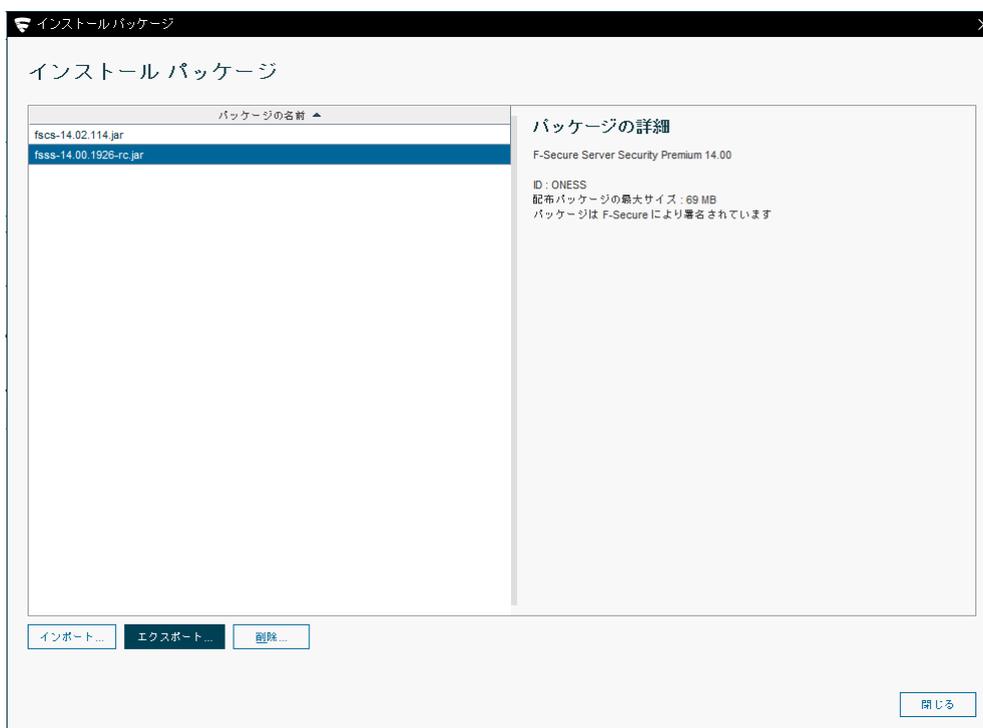
6. 手順2でダウンロード頂いたインストールパッケージを選択し[インポート]を押します。



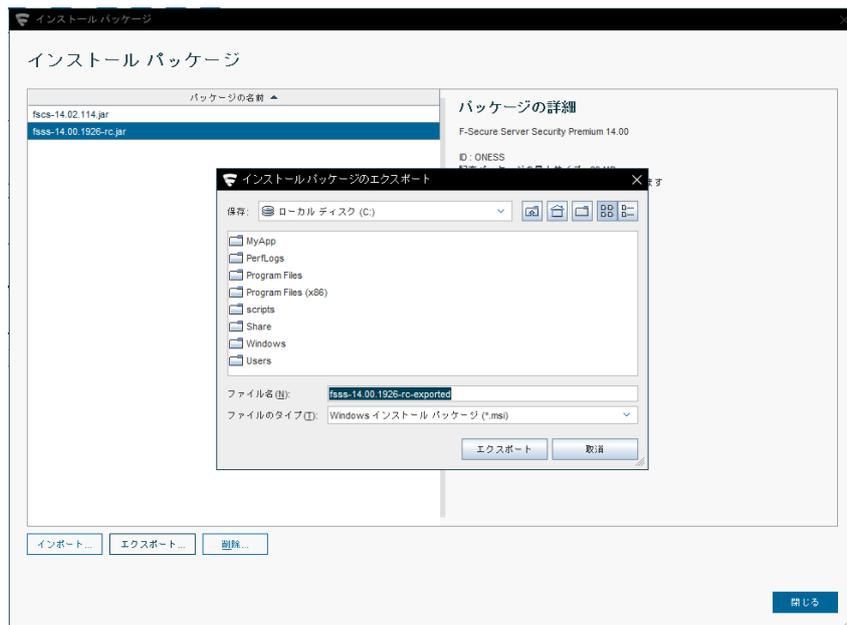
7. インポートプログレスバーの表示が無くなり、パッケージの名前一覧にインポート頂いたパッケージ名称が表示されていることを確認します。



8. 対象パッケージを選択し[エクスポート]を押します。



9. 作成したインストーラを配置するフォルダを指定し[エクスポート]を押します。



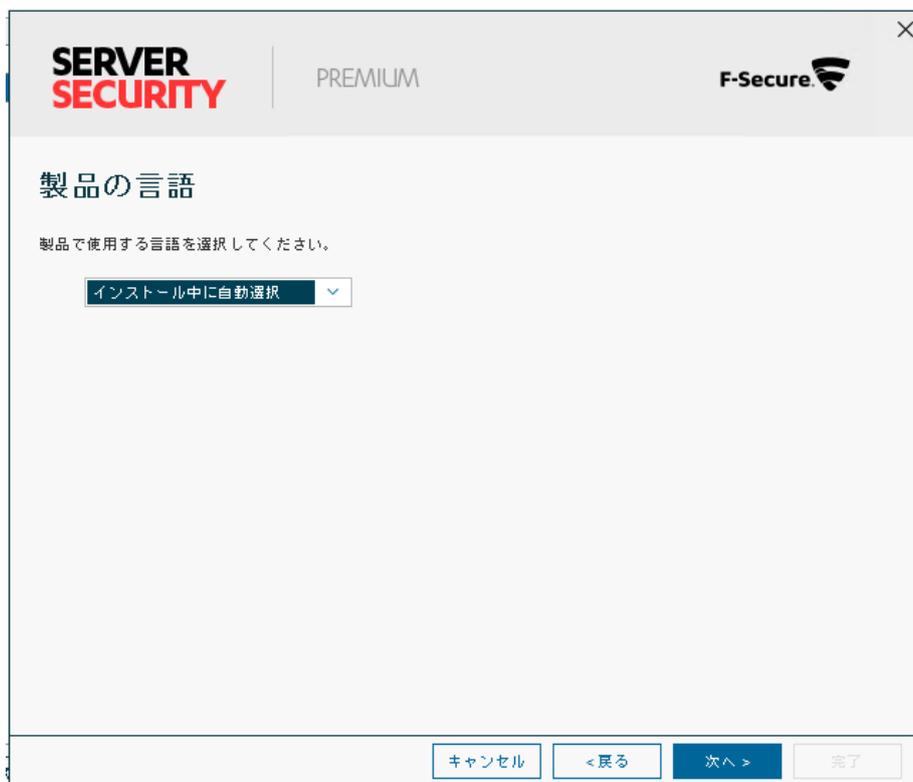
10. リモートインストールウィザードが表示されましたら[次へ]を押します。



11. 作成されるインストーラのエディションを選択頂き[次へ]を押します。
Policy Manager が既に評価版から製品版へと切り替わっている場合、この画面ではキーコードを
求める画面が表示され、製品版インストーラのみ作成可能となります。



12. 製品の言語を選択して[次へ]を押します。



13. 他のポリシーグループ・端末の設定をインストーラに含める場合には、ポリシーの対象を選んでから[次へ]を押します。

The screenshot shows the '初期ポリシー' (Initial Policy) window in the F-Secure Server Security Premium installer. The window title is 'SERVER SECURITY PREMIUM' and 'F-Secure'. The main heading is '初期ポリシー'. Below it, a message states: 'ホストが F-Secure ポリシー マネージャから独自のポリシーを受け取るまで、使用する初期ポリシーを選択できます。' (Until the host receives its own policy from the F-Secure Policy Manager, you can select the initial policy to use.) There are two radio button options: 'デフォルトポリシー' (Default Policy) which is selected, and 'ポリシーの対象:' (Policy Target:) with an empty text field and a dropdown arrow. At the bottom, there are four buttons: 'キャンセル' (Cancel), '< 戻る' (Back), '次へ >' (Next), and '完了' (Finish).

デフォルトポリシー：
デフォルト設定値にてインストーラを作成される場合に選択します。

ポリシーの対象：
既に管理対象のインストール済み端末が存在し、そのポリシーグループや端末と同一設定にてインストーラを作成される場合に選択します。

14. Policy Manager との通信設定を行い[次へ]を押します。

The screenshot shows the 'ポリシー マネージャとの通信を設定する' (Configure communication with Policy Manager) window in the F-Secure Server Security Premium installer. The window title is 'SERVER SECURITY PREMIUM' and 'F-Secure'. The main heading is 'ポリシー マネージャとの通信を設定する'. Below it, a message states: 'ポリシー マネージャ サーバのアドレスを指定してください。サーバの IP アドレス、WINS または DNS 名を使用できます。HTTPS または HTTP 通信のポートも指定して、環境に応じて接続先のホストの識別方法を選択できます。' (Specify the address of the Policy Manager server. You can use the server's IP address, WINS, or DNS name. You can also specify the port for HTTPS or HTTP communication, and select the host identification method for the connection destination based on the environment.) There are four input fields: 'ポリシー マネージャ サーバのアドレス:' (Policy Manager server address) with the value 'testSrv.vcloud.f-secure.com', 'HTTP ポート:' (HTTP port) with the value '80', 'HTTPS ポート:' (HTTPS port) with the value '443', and 'ホストを認識する:' (Identify host) with a dropdown menu showing 'SMBIOS グローバル一意識別子'. At the bottom, there are four buttons: 'キャンセル' (Cancel), '< 戻る' (Back), '次へ >' (Next), and '完了' (Finish).

ポリシーマネージャサーバのアドレス：
接続先ポリシーマネージャサーバのアドレスを入力します。
名前解決が可能な場合にはコンピュータ名や FQDN で入力頂けます。また、Policy Manager が稼働するサーバ機が固定 IP アドレスの場合には、IP アドレスでの入力をお勧めします。

HTTP ポート :

Policy Manager のインストール時に指定されたホストモジュール (HTTP ポート) をご指定ください。

HTTPS ポート :

Policy Manager のインストール時に指定されたホストモジュール (HTTPS ポート) をご指定ください。

ホストを認識する :

Policy Manager が各ホストを認識する為の割り振られる UID の割り振り方法について指定します。
通常ではデフォルト値の“SMBIOS グローバル一意識別子”で結構でございます。

15. Policy Manager のドメインツリーに簡単にインポートする為のカスタムプロパティを設定できます。
Policy Manager 側でインポートルールにカスタムプロパティを設定されている場合には、プロパティ名・プロパティ値を登録して[次へ]を押します。未設定の場合にはそのまま[次へ]を押してください。

SERVER SECURITY PREMIUM F-Secure

ホストのカスタム プロパティを入力してください

製品をホストにインストールし、F-Secure ポリシー マネージャに接続する場合、ホストにカスタムのプロパティを設定することでポリシードメインツリーを簡単にインポートできます。コンソールで新しいホストをインポートするときに使用するカスタム プロパティを入力してください。

不要な場合、[次へ]をクリックしてください。

プロパティ名	プロパティ値
--------	--------

追加 編集 削除

キャンセル <戻る 次へ > 完了

- 16.通常、“競合ソフトウェアをアンインストールする (推奨)”はチェックされたままで[次へ]を押します。

SERVER SECURITY PREMIUM F-Secure

競合ソフトウェア

インストール中に検出された競合ソフトウェアの処理方法を選択します。

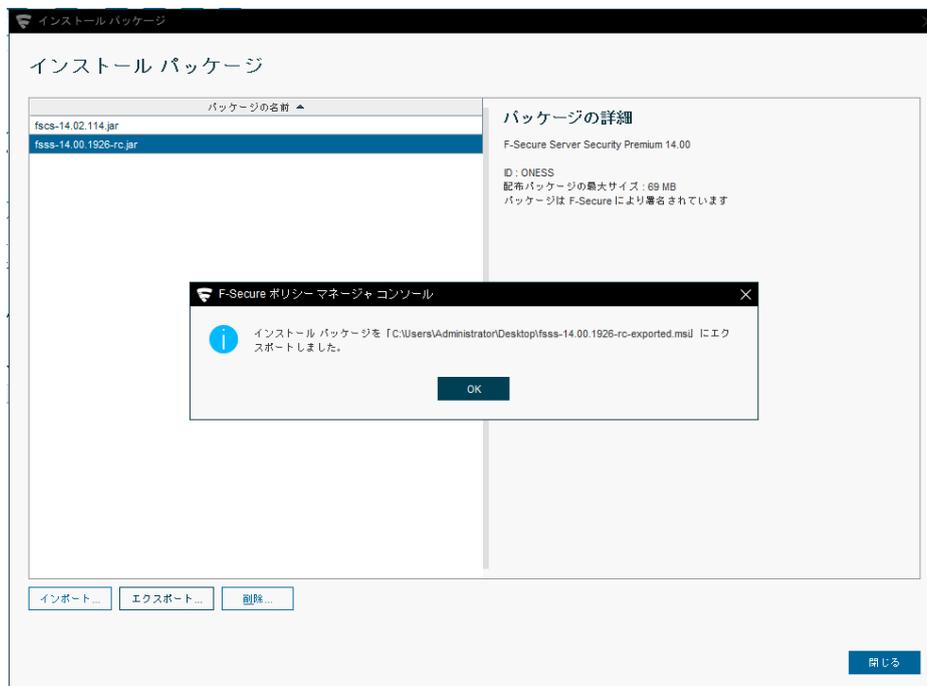
競合ソフトウェアをアンインストールする (推奨)

キャンセル <戻る 次へ > 完了

17.再起動が必要な場合の再起動オプションを設定し[完了]を押します。



18.インストーラが作成完了となりますと以下の画面となりますので[OK]を押した後に[閉じる]からインストールパッケージ画面を閉じてください。



19.エクスポートされたインストーラを用いて各ホストへインストールをお願いいたします。